

IC-22

FM 10W
TRANSCEIVER

144MHz

¥42,500

2 CHANNELS

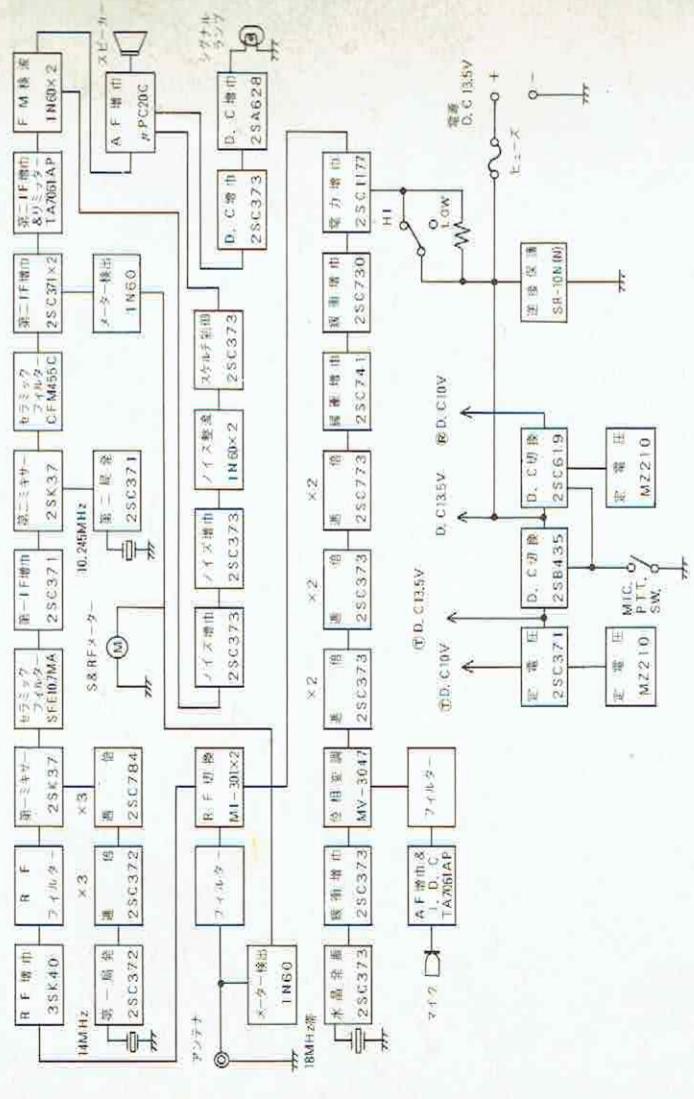


規 格	
●一般仕様	トランシスター - 23
使用半導体数	FET 3
I.C.	3
ダイオード数	16
ダイオード - F	16
周波数範囲	144.0~146.0MHz
電源電圧	13.5V ±20%
適合バッテリーナンバー	30Ω不平均
接続方法	マイナス地
消費電力	L.W. (1 W) 0.5W ~1.5W M.W. (10W) 5KHz可 0.5W ~1.5W
受信時H.F. (10W)	約2.0A
送信時H.F.	約0.9A
受信最大出力時	約350mA
基受電流	180mA
基本受振器数	18MHz 常
不要幅	-60MHz 时 15KHz
使用マイクロ	500Ωダイオニック型
アースストップ付	アースストップ付
外形寸法	53mm(高さ) × 156mm(奥行) × 205mm(横幅) 約 1.7kg
重量	約 1.7kg

●送信部	
送信周波数	144MHz帯内22.7kHz
3チャネル水晶内蔵	3チャネル水晶内蔵
(4) 144.148MHz	(4) 144.148MHz
(7) 144.600MHz	(7) 144.600MHz
(5) 145.32MHz	(5) 145.32MHz
電波型式	F.M.
電力	H.L. 10W LOW 0.5W ~1.5W
最大周波数偏移	15KHz (5 KHz可)
調制方式	AMPS位相変調
音量	8段階
通話感度	8.36dB
音響回路	可變RCターンスイッチ付
感度	18MHz 常
基本受振器数	18MHz 常
使用マイクロ	500Ωダイオニック型
アースストップ付	アースストップ付
低周波出力	1W(L.E. 8Ω負荷時)

●受信部	
送信周波数	144MHz帯内22.7kHz
3チャネル水晶内蔵	3チャネル水晶内蔵
(4) 144.148MHz	(4) 144.148MHz
(7) 144.600MHz	(7) 144.600MHz
(5) 145.32MHz	(5) 145.32MHz
電波型式	F.M.
電波感度	20dB(B)時 S+N/N
中間周波数	10.7MHz
第2中間周波数	455kHz
第3中間周波数	455kHz
IF入力時	3dB(B)時 S+N/N
スピリット感度	1dB(B) ±15kHz(L.F.)
IF感度	6dB(B) ±15kHz(L.F.)
IF出力	500Ω ±25kHz(L.F.)
IF出力	-8dB(B) ±15kHz(L.F.)
IF出力	1W(L.E. 8Ω負荷時)

●プロックダイヤグラム



株式会社 井上電機製作所

お求めは信用ある当店で

大阪市東住吉区加美緑町3番地の8 ☎ (06) 792-6843
大阪営業所 大阪市東住吉区加美松山町3丁目42-4 ☎ (06) 793-3311(代)
東京営業所 東京都渋谷区渋谷2丁目3番9号 フオクスビル2階 ☎ (03) 715-3350

ICOM

多チャンネル時代に応える本格派トランシーバー

画期的コストパフォーマンスを実現!

● 22チャンネル
多チャンネル時代用として22チャンネルを収容することができます。水晶発振は送受信とも基本発振回路を採用しています。

● JARLチャンネル
多チャンネル時代用として22チャンネルを収容することができます。水晶発振は送受信とも基本発振回路を採用しています。

● シグナルランプ
スケルチの開閉状態をランプの点滅によって表示しています。

● 技群のスプリアス特性
高性能フィルターの採用でスプリアスの少ない電波が、そして選択性はIDCとH-Qコイルを使用したLCフィルターにより極めてきれいな電波が発射されます。

● 送信出力
簡単に2段切換ができます。遠距離はHIで出力10W、近距離は出力1Wと無段のない強切換オペレーションができます。

● アクセサリーケット
後面ネジのACソケットにセントラーメーターの出力端子が付いていますのでセンターメーターの接続が簡単にできます。

● 送信表示ランプ
マイクロホンのトーカスイッチを押しますと赤色のランプがつき、送信状態になります。

● マイクコネクター
スピーカー

● 送信機系系統図
専用アクセサリーとして下記のものを用意しています。

● 万全の混変調対策
近接周波数の大電力局に対してはMOS型FETによるRF増幅回路とヘリカルキャビティの採用により素晴らしい混変調抑制特性、2信号選択特性を有しており、遠距離に対しても安定した感度を得られます。



1. 送信設備 装置別 第工事設計計画書	
装置	別
発射の可能な電波の範囲	$f_s = 143\text{MHz} \sim 146\text{MHz}$
及び周波数の範囲	水温発振 18MHz $\times 1 \times 1 \times 1 \times 1 \times 2$
金振の方式及び周波数	$\times 2 \times 2 \times 1 \times 1 \times 1 \times 144\text{MHz}$
(連倍方式を含む)	可変リアクタンス位相調整
振幅方式	終段38極の入力及び電圧
空中線の型式及び高さ	20W, 13.5V
マウント	米

2. 受信設備 装置別 第工事設計計画書	
装置	別
受信方式	スームーへテロダイイン方式
受信の可能な周波数の範囲	$143\text{MHz} \sim 146\text{MHz}$

